

船を漕ぐ



令和5年9月22日(金)

☆それぞれの教科におけるしなやかさ

4～6年生の理科では、実験や観察をグループで行うことが多いです。そのグループ活動の中で、子どもたち同士が考えを出し合い、自分の考えと比べて理解を深めている姿がよく見られます。例えば、自分の考えと同じ考えが出た場合は、自分の考えに自信を持つことができます。反対に、自分と違う考えが出た場合は、「なるほど。そんな考えもあるんだ。」と新たな発見ができたり、「え?どうしてそうなるの?」と新たな疑問が生まれたりします。自分の考えと違う考えが出てきた時に、すぐに否定するのではなく、「しなやかに考える力」が備わってくれば、広い知識が得られ、深い学びにつながっていくのではないかと思います。理科では、そのような友だちのいろいろな考えを交流し、学びを深められる時間を授業内で作れるようにしていきたいと考えています。

* * * * * 学習の様子 * * * * *

個人で一度考える

⇒

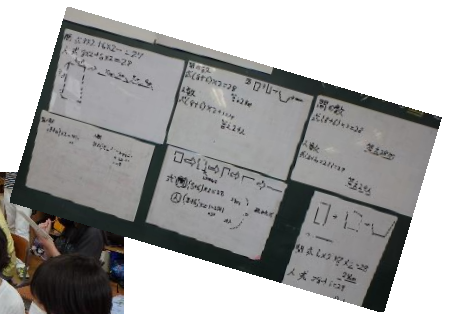
他者と話し合う

⇒

個人で再考する

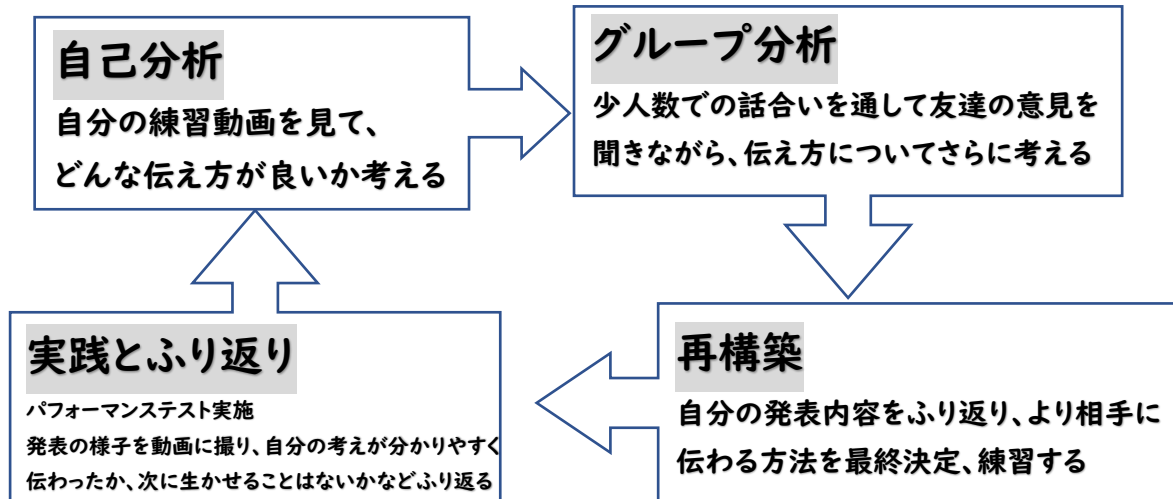


それぞれのペースで進めるときも、一緒にペースを合わせて取り組むときもあります。どちらも「しなやかに」考える力がようになってくるなど感じながら進めています。



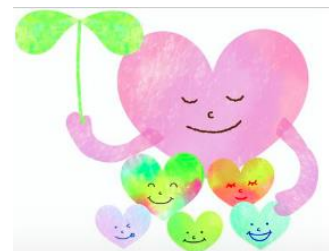
☆外国語では・・・

外国語の学習では、毎単元、習った表現を使って自分の考えや出来事を伝える活動をしています。より分かりやすく自分の考えや気持ちを伝えるために、話し合い活動を取り入れています。自分やその場面にあった方法を選択しながらブラッシュアップしていくことができればいいと考えています。



☆通級指導教室では・・・

「しなやかに考える力」の基盤になる言葉の力を付ける学習をしています。話す、伝える、聞く、知る、考える、などの様々な場面で必要な言葉を豊かにするために、「はあと・ふる通級指導教室」では毎時間、お話タイムを設定しています。初めは、話したいことが決まらない児童や、話すのが2、3文の児童、伝えたいことが言葉足らずで伝わらない児童も、指導者の質問に答えたり、スピーチメモを活用したり、適切な話し方聞いてリピートすることで、話す力・聞く力が付いてきます。聞いてもらえてうれしい、伝わってうれしい、もっと話したいという気持ちを育てています。



神足小が目指す児童像（至誠・進取・敬愛）に向け、どのような取組を行っているのか、「研究だより」を通してお伝えしていきます。児童・教師・保護者の方々が“心と力を合わせて一緒に糧を漕ぐ”ことができますように。